



平成18年2月24日
東京湾再生推進会議事務局

第1回東京湾再生セミナー 『東京湾の今を知る！』 の開催について

東京湾再生推進会議では、18年度に予定している「東京湾再生のための行動計画」中間評価に向け、第1回東京湾再生セミナー『東京湾の今を知る！』を別紙のとおり開催しますので、お知らせいたします。

東京湾は、昔に比べてきれいになったと言われていますが、今の東京湾は生物が生息するのに適した環境なのでしょうか。

セミナーでは、東京湾の水環境について研究されている研究者の方々や豊かな東京湾を取り戻すための取り組みをされている方々に、東京湾の現状や再生に向けた取り組みについて分かりやすくご講演頂きますので、身近にある東京湾の現状を学んで、美しく豊かな東京湾について一緒に考えてみませんか。

なお、5月頃、第2回東京湾再生セミナー（内容未定）を開催する予定としております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

東京湾再生推進会議事務局

海上保安庁海洋環境保全推進室（問合せ先）

藤井 （03-3591-6361（内線3902）
03-3591-5877（直通））

国土交通省都市・地域整備局下水道部流域管理官

津森 （03-5253-8111（内線34312）
03-5253-8432（直通））

国土交通省港湾局環境整備計画室

辻 （03-5253-8111（内線46685）
03-5253-8684（直通））

第1回東京湾再生セミナー 『東京湾の今を知る！』

日時： 3月6日（月） 13：30～17：30

場所： 海上保安庁海洋情報部庁舎 7階大会議室
東京都中央区築地5-3-1（下図参照）

内容：

1. あいさつ 東京湾再生推進会議幹事長
海上保安庁総務部参事官 山本芳治
2. 講演（敬称略）
 - ①赤潮・青潮とは 東京大学 磯部雅彦
 - ②生き物の棲みやすさ 千葉県水産総合研究センター 石井光廣
海上保安庁海洋情報部 山尾 理
 - ③漁業者NPOから考える東京湾再生
NPO法人 盤州里海の会 金萬智男
 - ④行政は何をするべきか 国土技術政策総合研究所 古川恵太
3. 全体質疑

参加費：無料

定員：50名（定員になり次第締め切らせて頂きます。）

申込方法：氏名、職業、連絡先（電話番号、FAX、メールアドレス）をご記入の上、メール又はFAXでお申し込み下さい。

申込先・問合せ先：

東京湾再生推進会議事務局（海上保安庁）
海上保安庁環境保全推進室 藤井・佐藤
TEL：03-3591-5877 FAX：03-3591-5085
E-mail：brp@jodc.go.jp



東京湾再生推進会議について

平成13年12月4日に都市再生本部において決定された都市再生プロジェクト「海の再生」（下記参照）を東京湾において推進するための協議機関で、平成14年2月5日に首都圏再生会議の下に設置された。

構成メンバーは、八都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市）、関係省庁（国土交通省、海上保安庁、農林水産省、林野庁、水産庁、環境省）及び内閣官房都市再生本部事務局。

※さいたま市は、平成16年2月23日加入

推進会議の下には、幹事会と3つの分科会（陸域対策分科会、海域対策分科会及びモニタリング分科会）が設置されている。

平成15年3月に、10年間で実施すべき東京湾の水環境改善のための施策を「東京湾再生のための行動計画」として取りまとめ、現在、各機関において同行動計画に基づく取り組みを実施している。また、同行動計画の策定後は、進捗状況を確認するため、毎年度フォローアップを行うとともに、3年目と6年目の終了時（平成18年度、平成21年度）には中間評価を行い、総合的に評価することとしている。

都市再生本部第3次決定（抜粋）

Ⅲ 大都市圏における都市環境インフラの再生

3. 水環境系の再生

地表の被覆等の都市化に起因してその健全性が大きく損なわれている都市の水循環系について、河川や海の再生、市街地の雨水貯留・浸透機能の回復等、各領域の施策を総合的に推進することによりその再生を図る。

(2) 海の再生

水質汚濁が慢性化している大都市圏の「海」の再生を図る。先行的に東京湾奥部について、地方公共団体を含む関係者が連携してその水質を改善するための行動計画を策定する。